

Young Art 4th  
Directors  
Exhibition

EEK 2010 GOLDEN WEEK 2010

CUP ROPPONGI "D-LABO" CUP ROPP

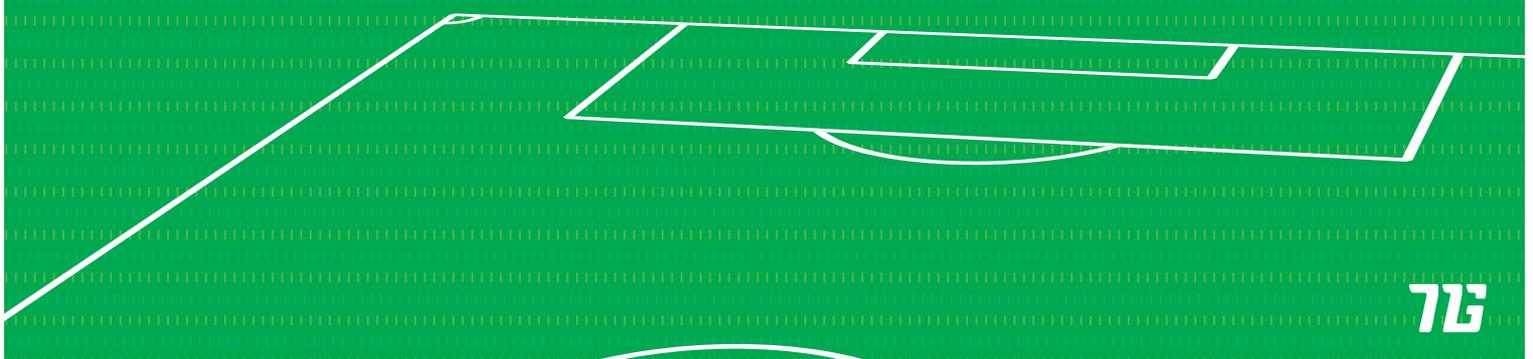
DER DESIGN x SOCCER DES

TOWN AT TOKYO MIDTOWN AT T

-18:00 5/1(SAT)-5/5(WED) 18:00-18:00 5/1(S

!!! KICK OFF !!! KICK

SOCCER/ HTTP://SEVEN-G.JP/SOCCER/ HTTP:.



## デザインとサッカーの夢の競演?!

**【キックオフ】デザイン:**新しいプロジェクトを開始すること。キックオフミーティング。**サッカー:**ゲームの開始や再開の時にセンターマークで行うキックのこと。**【センタリング】デザイン:**行の揃え方で、1行ごとに中央に揃える。センター揃えともいう。**サッカー:**相手陣地のタッチライン付近から中央のゴール前にいる味方プレーヤーに出すパス。**【ピッチ】デザイン:**欧文など、文字の形やデザインによって文字の幅が異なるもの。またその処理。**サッカー:**試合を行う場所で芝生の生えているところ。フィールド。**【トル】デザイン:**誤字や、不要な文字を削除すること。**サッカー:**ボールを相手から奪う。ゴールを決めるときにも用いる。**【クリア】デザイン:**テキストや画像などを消すこと。**サッカー:**危険な味方ゴール前のボールを、タッチラインの外などの安全な地域に蹴り出すこと。**【アタリ】デザイン:**罫線や写真の位置指定のガイドラインで、実際の印刷には出ない線。**サッカー:**ディフェンダーがボールをもっている選手へタックルに行くこと。**【速攻】デザイン:**「今日中にやっておいて!」といわれ終電もしくは、徹夜で仕事をすること。**サッカー:**守備から攻撃に移る時に、縦パスやスルーパスを用いた素早い攻撃。

アートディレクターグループ7G(セブン・ジー)が2006年度より継続して行っている、“Young Art directors Exhibition”。4回目になる2010年のゴールデンウィークは、“DESIGN×SOCCER”を開催いたしました。

今回は、初参加のクリエイターも多数招き、夏に行われるFIFAワールドカップへ向けて盛り上がりを見せるサッカーがテーマ。サッカーは簡単なルールとボール以外に特別な道具を必要としないことから、先進国のみならず世界中で愛され、競技人口の最も多いスポーツの部類に入ります。この誰もが理解する普遍的なスポーツを題材に作品を制作することによってデザインの可能性とサッカーの新たな魅力を引き出すことを狙いととしています。

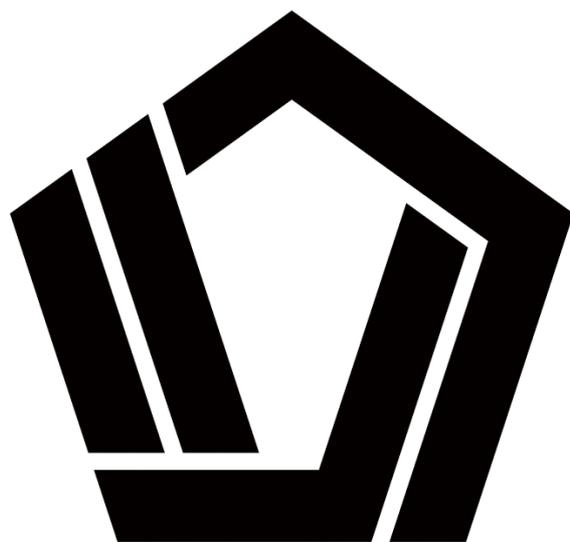
アートディレクションがサッカーをどのように変えるのか。是非ご覧ください。

会期:2010年5月 1日(土)・2日(日)・3日(月)・4日(火)・5日(水) 10:00~18:00  
会場:東京ミッドタウン ミッドタウン・タワー7F『d-labo特設会場』



## EXHIBITS/EXPLANATION

作品介绍/解说



**tsukuru+**

ツクルト

©yuki adachi/yuki matsuda

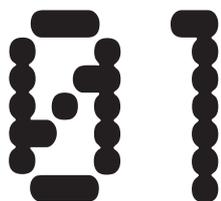
**YUKI ADACHI** **YUKI MATSUDA**

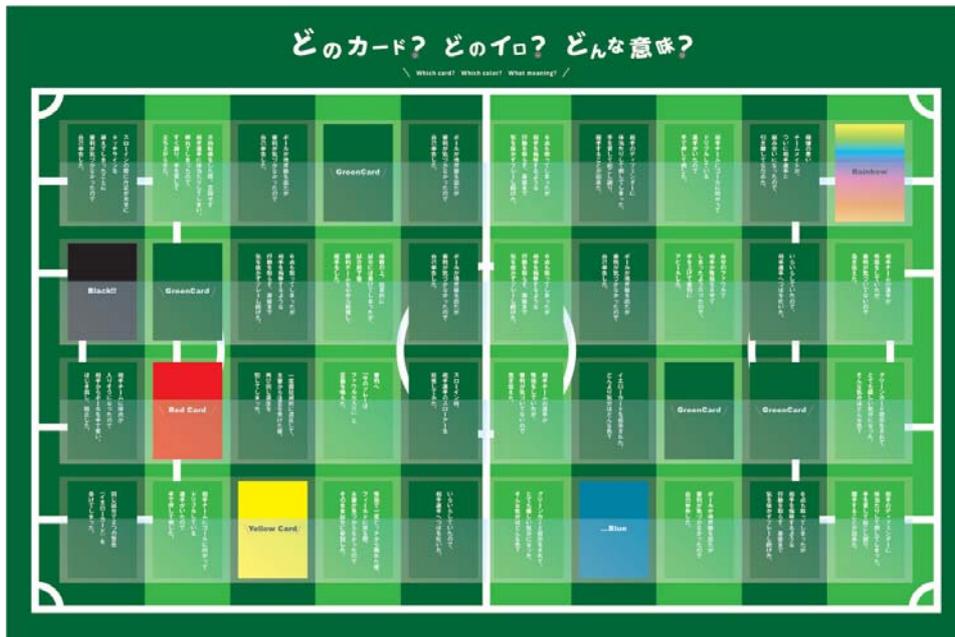
安達祐貴

松田勇希

【tukuru+】

くつ下を丸めたボール。ゴールに見立てた壁のラクガキ。世界中どこにでもある、そんな光景。サッカーは本来、いつでも、どこでも、誰にでも楽しめるスポーツです。代表チームが弱いだとか、スター選手の移籍金がいくらだとか。最近、話題はそんなことばかり。いま一度、楽しむという原点に立ち戻ってみませんか。路上で、キャンプ場で、自分の部屋で。楽しみたい、その気持ちがあれば、そこはもうピッチです。そんな想いを込めて、簡単にボールとゴールを組み立てて遊ぶ、サッカーキットをつくりました。





⊕ カード例

| 表                    | 裏           | 表                    | 裏       |
|----------------------|-------------|----------------------|---------|
| 事例語                  | カードカラー語     | 事例語                  | カードカラー語 |
| 「心・技・体」を磨き、夢を追いかけよう。 | Green Card  | 「心・技・体」を磨き、夢を追いかけよう。 | Rainbow |
| 「心・技・体」を磨き、夢を追いかけよう。 | Red Card    | 「心・技・体」を磨き、夢を追いかけよう。 | BlackIt |
| 「心・技・体」を磨き、夢を追いかけよう。 | Yellow Card | 「心・技・体」を磨き、夢を追いかけよう。 | Blue    |

※実際に使用されているカードデザインとは異なります。  
 ※事例はあくまでも一例です、この他にもいろいろあります。  
 ※右列3種 (Rainbow, Black, Blue) は、遊びのカードです。実際には存在しません。

○ 参考資料  
 日本サッカー協会 (JFA) <http://www.jfa.or.jp/match/fairplay/index.html>

どのカード? どのイロ? どんな意味?  
 \ Which card? Which color? What meaning? /

子どもたちがサッカーで学ぶ、大切なこと。

選ばれる意味するレッドカード、警告を浴びるイエローカード。  
 その他、12歳以下の子どもたちには  
 賞賛を意味する「グリーンカード」があることをご存じですか?  
 子どもたちはサッカーを通して数多くの精神を学んでいます。

「グリーンカード」をご存じの方も、ご存じでない方も  
 このカードを通して、子どもの成長を感じて欲しい。

そんな思いで制作しました。

© akiko uchida

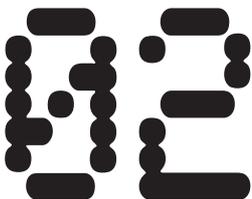
## AKIKO UCHIDA

内田 暁子

[KODOMO SOCCER] 12歳以下の子どもたちをサッカーで育てよう!

これは、サッカーを教育の一環として取り入れることを「KODOMO SOCCER (コドモ・サッカー)」と名付け、推進～定着させることを目的とした、大人のためのグラフィックコミュニケーションプランです。サッカーには一般のスポーツでの基本「心・技・体」にプラスし、「夢」を追いかけることのすばらしさを気づかせる、他には相手をリスペクトするなど、人として大切な要素が数多く含まれ、その精神の奥深さは測りきれないものです。どの世代にもあてはまる大切な人生観に幼少期から触れることは、子どもたちの可能性を増幅させ、より明るい未来を迎える期待へもつながります。

紙面はファーストアプローチ～サッカーと学びなどアカデミック感も感じさせつつ表現しました。





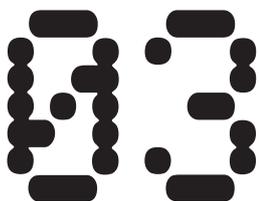
©toshiki osada/kenichi yasuda

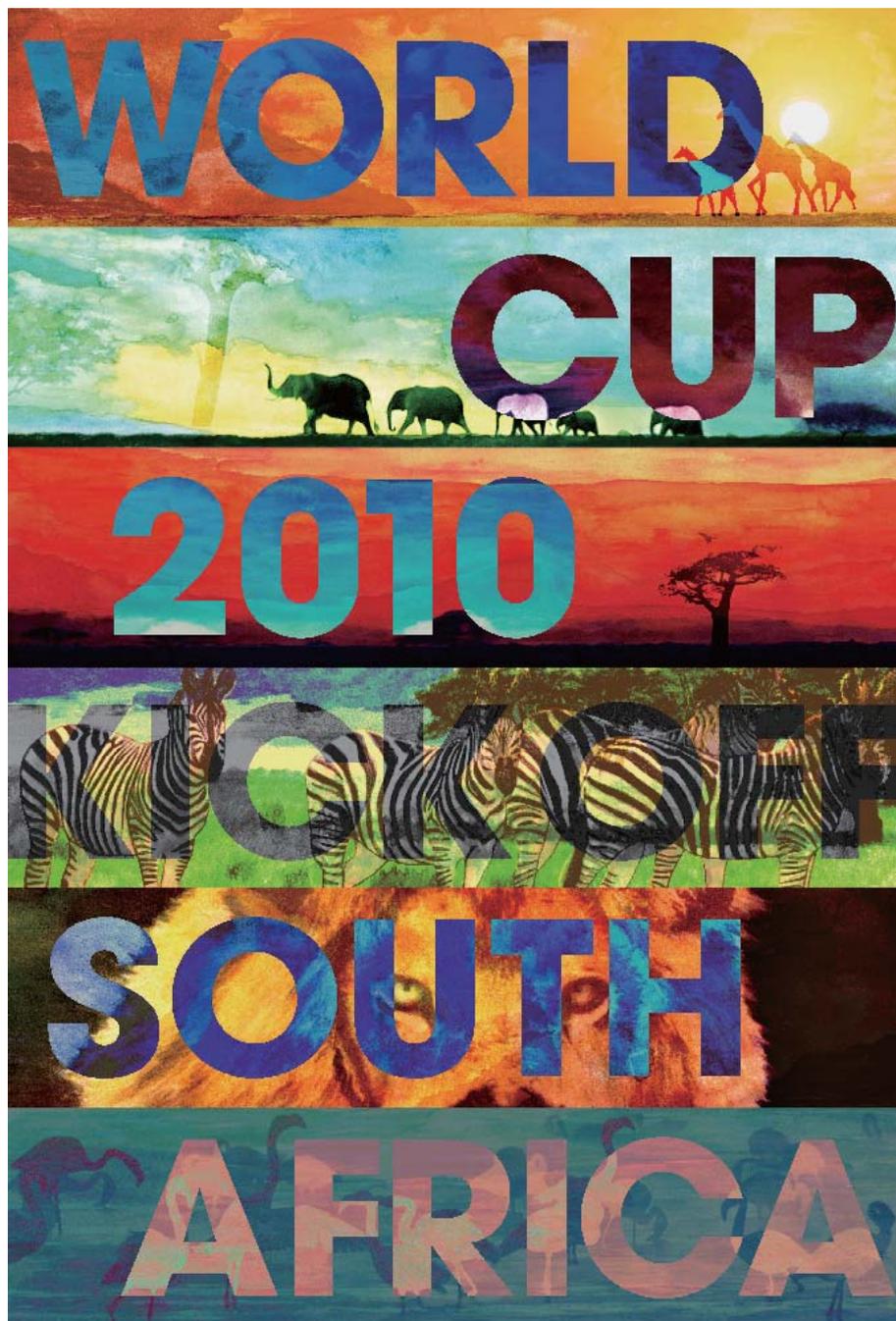
TOSHIKI OSADA KENICHI YASUDA

長田 敏希

安田 健一

サッカーの観戦視点を、実戦視点にするとうなるか。  
よりエキサイティングなサッカー観戦を提案します。



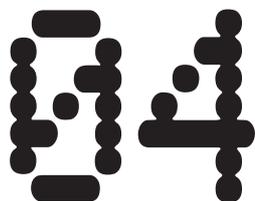


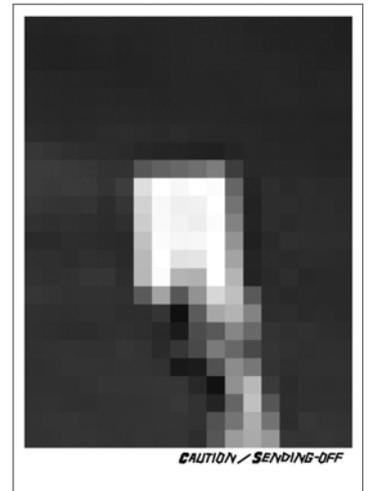
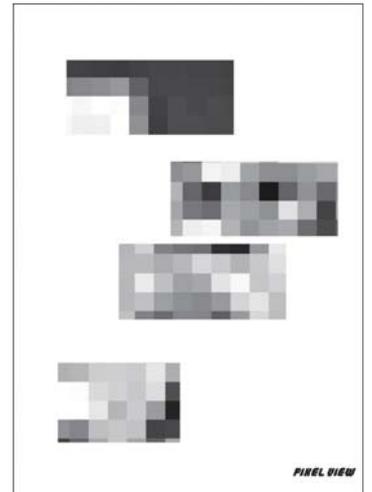
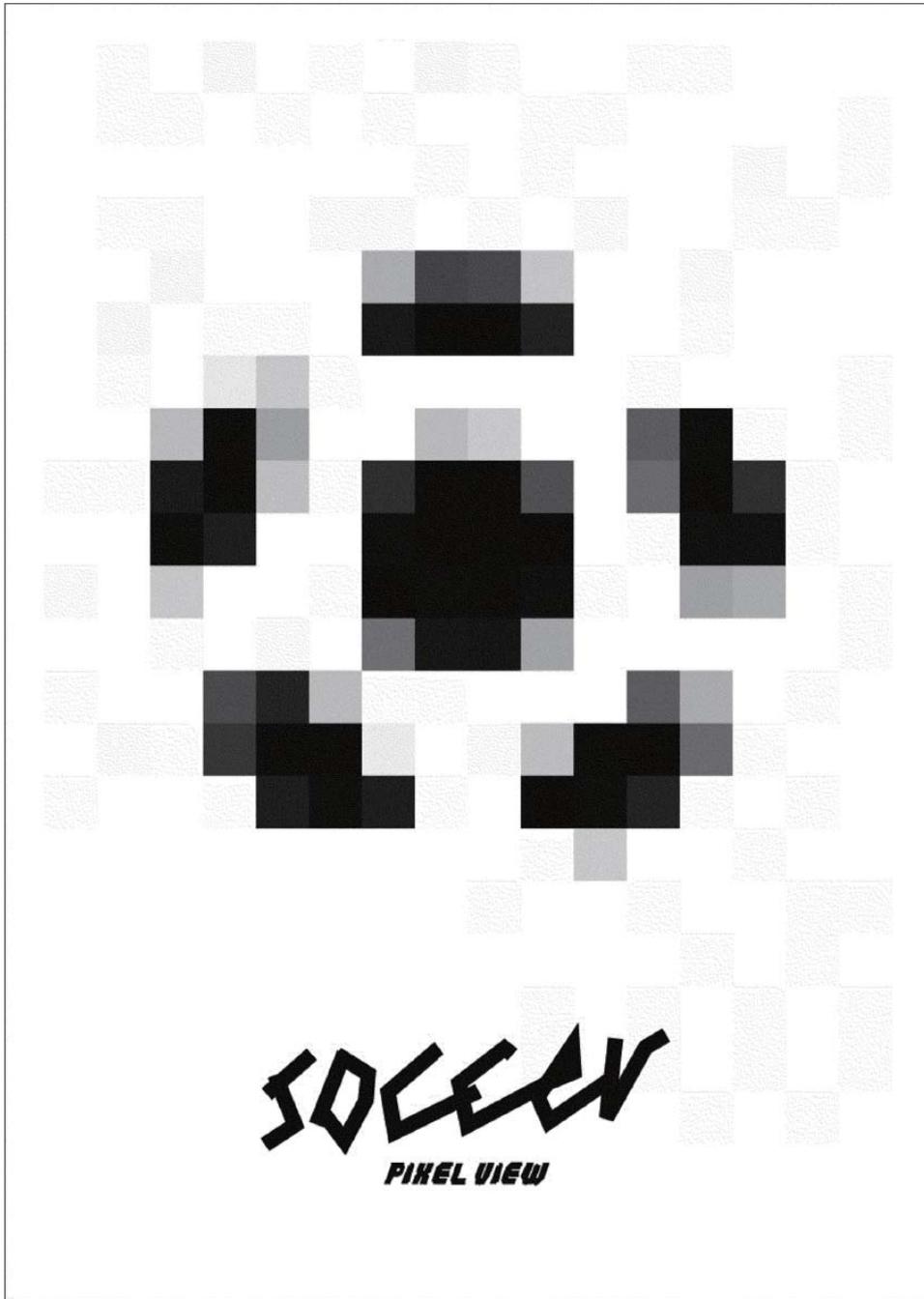
©reika kadowaki

REIKA KADOWAKI

門脇麗佳

アフリカ大陸で初めて開催される2010年ワールドカップ。この記念すべき祭典を「アフリカならではの」というテーマで表現しました。また、フィールドで世界で一番(王座)をかけて闘う選手たちは、さながら弱肉強食のサバンナで生き抜く動物達の如し!です。この夏、世界中から注目を浴びるアフリカの地が歓喜に沸き、これを機に今後の発展を切に願って! KICK OFF AFRICA!!!!





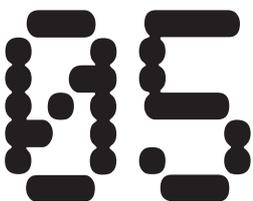
©hiroyuki kitamoto

## HIROYUKI KITAMOTO

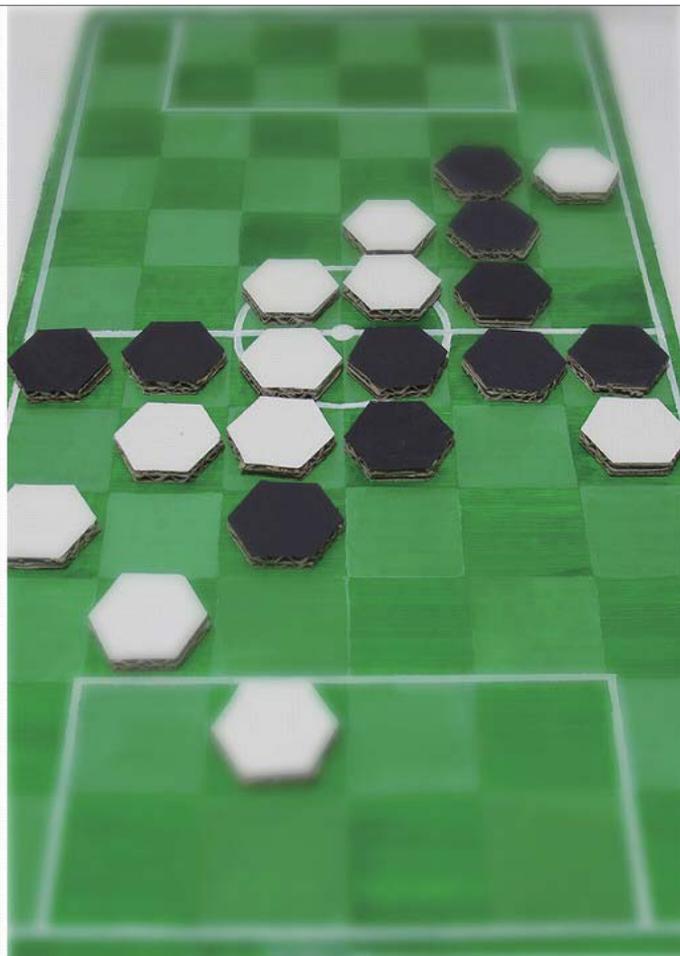
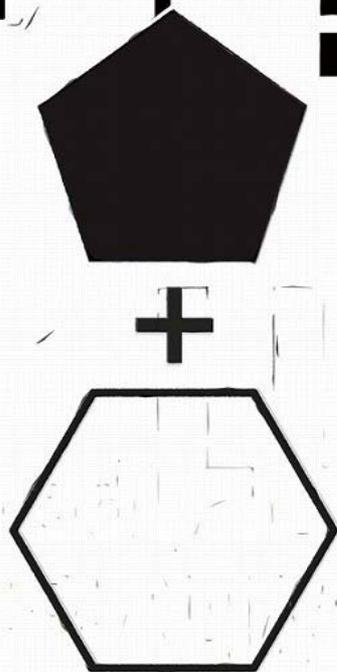
北本浩之

### 【PIXEL VIEW:SOCCER】

サッカーの観戦は2通りの楽しみ方がある。スタジアムでは、全体をみた遠距離からの観戦。テレビ中継などでは近距離やスローなどミニマムで明確な視点。この遠近の距離から生まれる面白みをピクセルに置き換え、近くから遠く離れたときの見え方の違いを思索した。



Why does it play  
with 11 people?



©daisuke sato

## DAISUKE SATOH

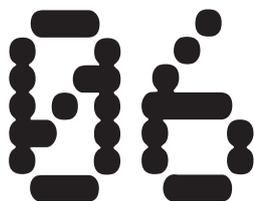
佐藤大輔

### 【ポスター】

ずっと昔から不思議だったことの1つです。なぜ、11人なのか？なぜ、サッカーボールは五角形と六角形で構成されているのか？これは単なる偶然の発見なのか、必然なのか？サッカーの神様が決めた数字。

### 【オブジェ】

新しいリバース・ゲームの発表です。ルールはシンプル。いつでも、どこでも、誰にだってサッカーは楽しめる。リバース・ワールドカップ2010開催！



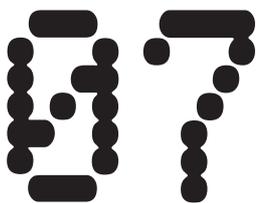


©takehiko shinozaki

## TAKEHIKO SHINOZAKI

篠崎岳彦

サッカーボールをつくろう!! 描いて、切って、貼って、つくるサッカーボール。  
[ KAMI BALL ] は、サッカーボールのペーパークラフト。会場だけではなく家に帰った後も  
DESIGN X SOCCERを楽しんでもらいたい!! そんな思いで制作しました。この作品を「作る」と  
いう体験して、サッカーがもっと好きになってもらえれば嬉しいです。





©shogo seki

## SHOGO SEKI

関 翔吾

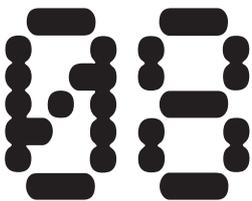
okyo sho-nen soccerという架空のサッカー教室を考えました。徐々に子供達のサッカー人気は低下してる中、サッカー教室という定着した概念をデザインの中で、どこまで変えることができるのか、そして、新しい価値を提案できるのかに挑戦しました。街なかこんなサッカー教室のポスターやパンフレットがあったら子供に習わせてみようかなという気に少しでもなってもらえたら嬉しいなという妄想をしています…

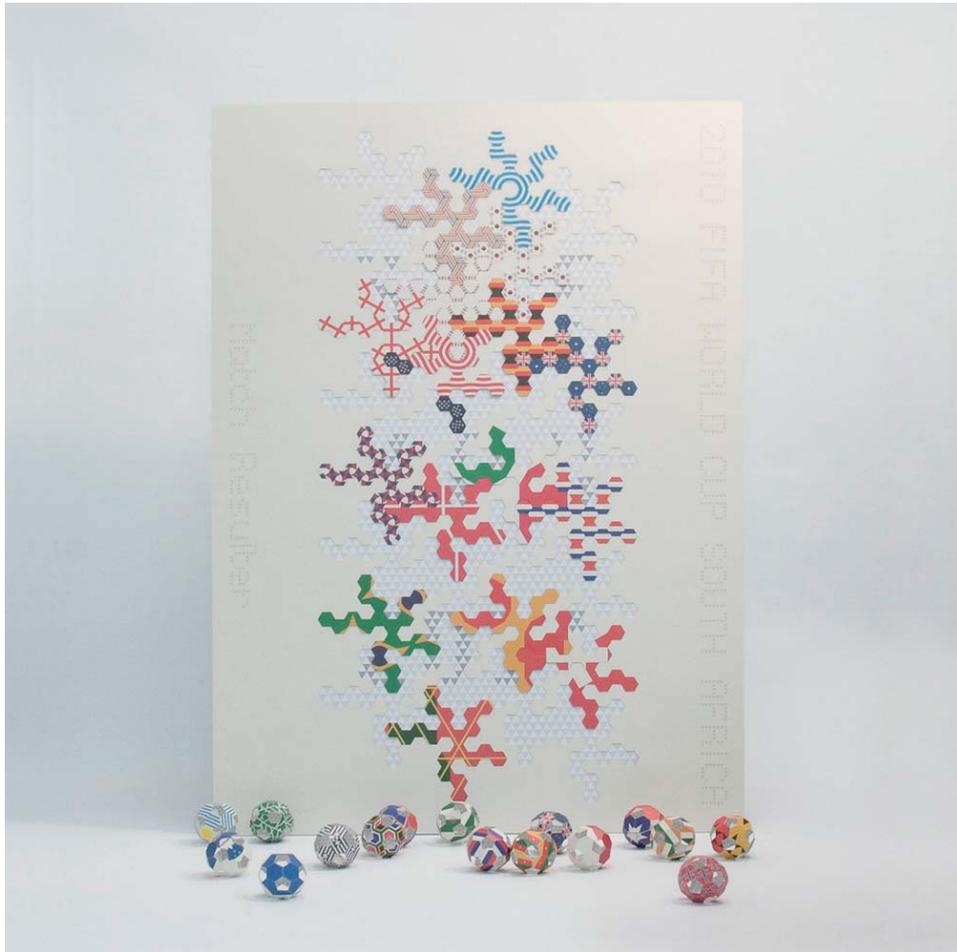
一つのゲームをとりあって、みんなとケンカした。

一つのボールをとりあって、みんなと仲直りした。

もし、サッカー語があったら、ぼくは200カ国の人と話せる。

サッカーは、戦争だっけってた。だったら戦争をサッカーにすればいいのに。





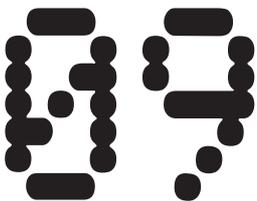
©ryosuke takano

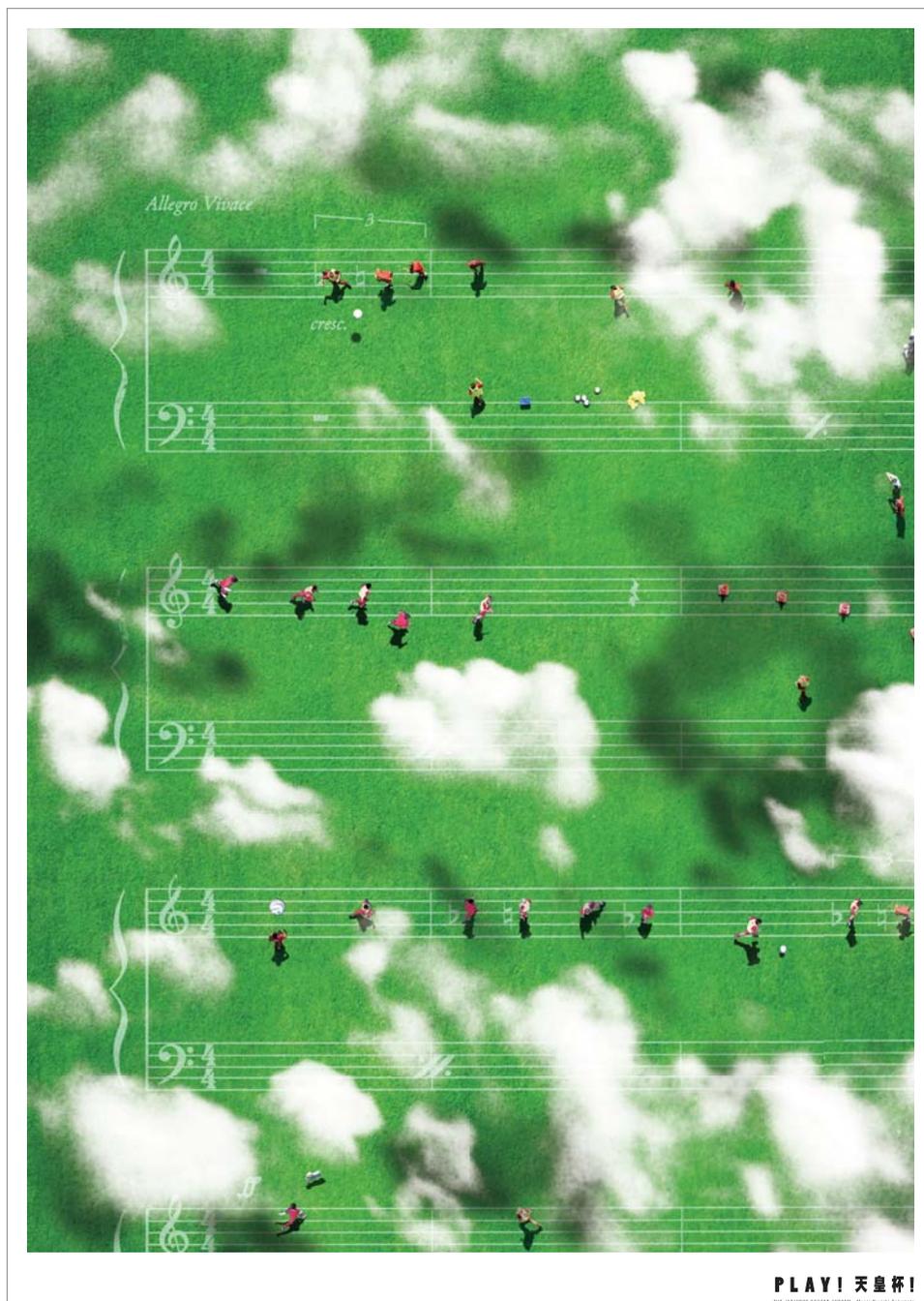
## RYOSUKE TAKANO

高野涼介

### 【ポスター上のワールドカップ】

サッカーボールの形状、出場国の国旗、予選リーグの組み合わせなどをモチーフとしてポスターを制作しました。各国に割り当てられた国旗モチーフのオブジェクトはペーパークラフトになっていて、ポスターからはがすとサッカーボールの形に組立てることができます。敗退したチームはポスターからどんどんはがれていき文字通り脱落していくのですが、ボールの形となってポスター上の試合を見守るわけです。大会が進むにつれてポスター上がどんどん殺風景になっていきますが、ギャラリーはどんどん増えていきます。決勝戦ではギャラリーも最も多くなり、大会の盛り上がりも最高潮・・・と勝手に想像してしまいましたが、6月から始まるワールドカップはどんな盛り上がりになるのでしょうか。たのしみですね。





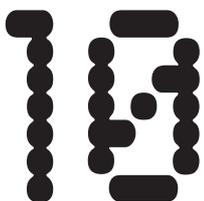
©makoto takeuchi

## MAKOTO TAKEUCHI

竹内 慎

【PLAY! 天皇杯!】

サッカーとは、例え言葉が通じなくても想いを共有できる、音楽のようなものかもしれない。  
作品では、天皇杯のテーマ曲である「THE JAPANESE SOCCER ANTHEM」が描かれています。  
(Music : Ryuichi Sakamoto)



# ふせんする サポーター

最近、小学生の間で、  
調べた言葉に付箋を貼っていくという、  
がんばった分だけ成果が目に見える  
とてもユニークな勉強法を目にしました。

子どもたちの辞書は  
付箋だらけにふくらんでいきます。

「ふせんするサポーター」は  
子供達の脳をバックアップし、  
がんばる子どもたちにエールを送ります。

日常が少し楽しくなる付箋です。



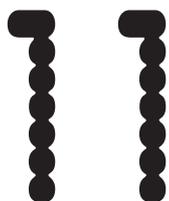
©kohei tamagawa

KOHEI TAMAGAWA

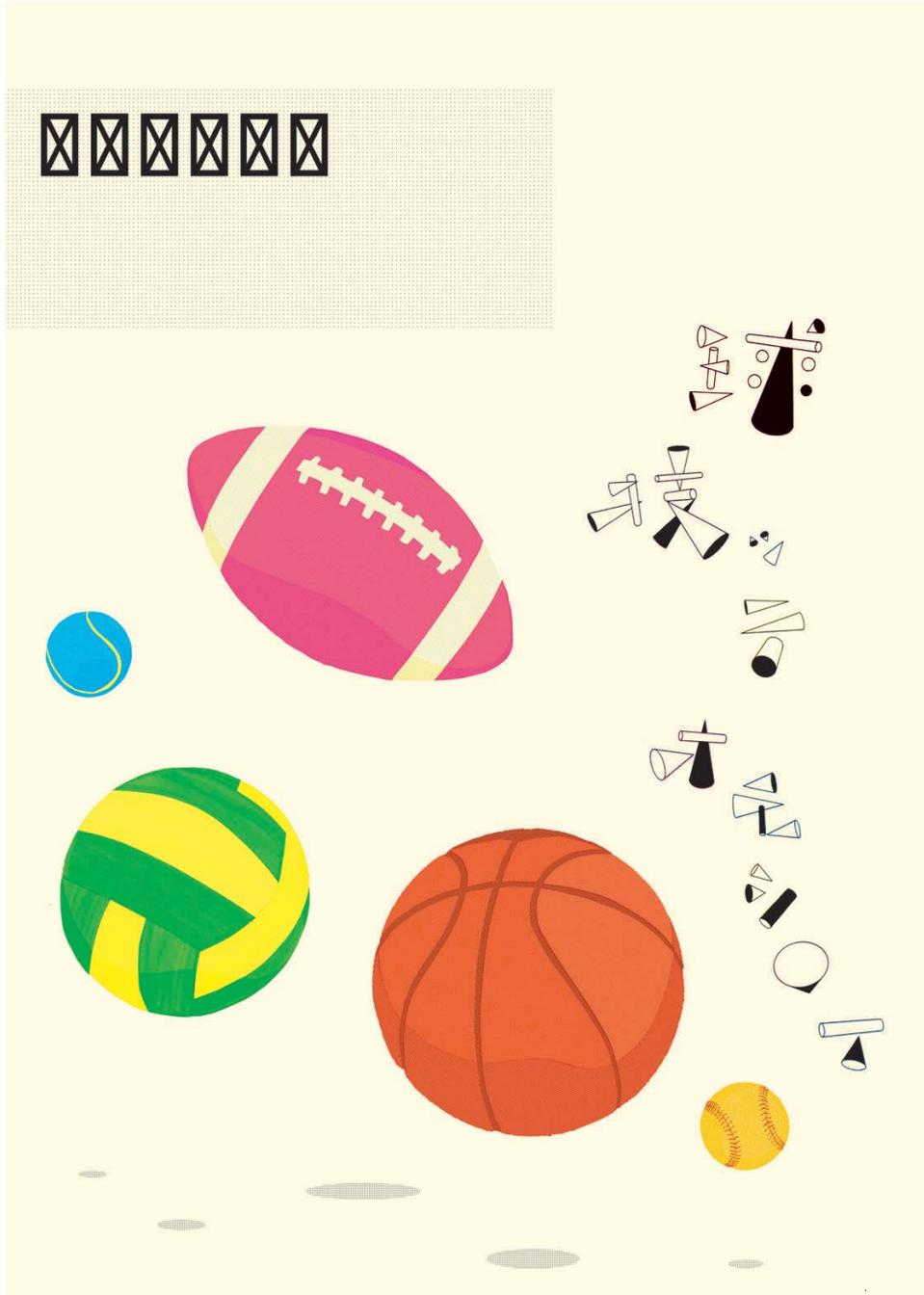
玉川耕平

【ふせんする サポーター】

最近、小学生の間で、調べた言葉に付箋を貼っていくという、がんばった分だけ成果が目に見えなくてもユニークな勉強法を目にしました。子どもたちの辞書は付箋だらけにふくらんでいきます。「ふせんするサポーター」は子供達の脳をバックアップし、がんばる子どもたちにエールを送ります。日常が少し楽しくなる付箋です。



XXXXXXXXXX

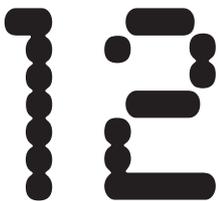


©yasuhiro tanabe

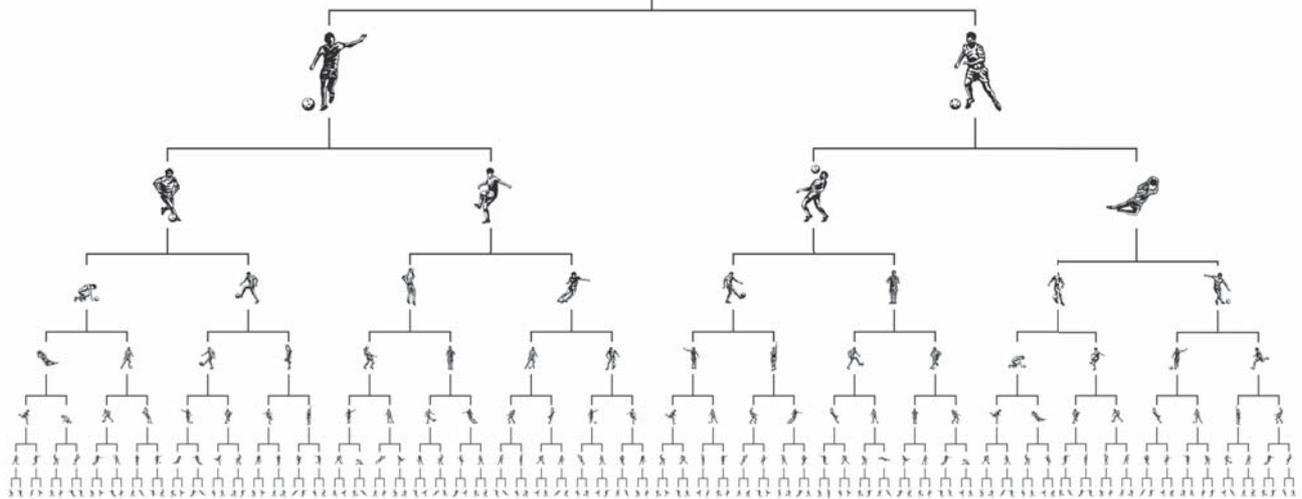
## YASUHIRO TANABE

田邊泰大

人類として歴史がはじまった頃から人類はある種のフットボールをしていたと言われてます。現代における球技の始まりはサッカーにあると考えます。一見わからないけど、どんな球技にもサッカーの片鱗が隠れているのではないのでしょうか。最初に石ころ蹴った人に拍手！



# RIVALRY MAKE YOU TOP PLAYER.



©taiki nagayama

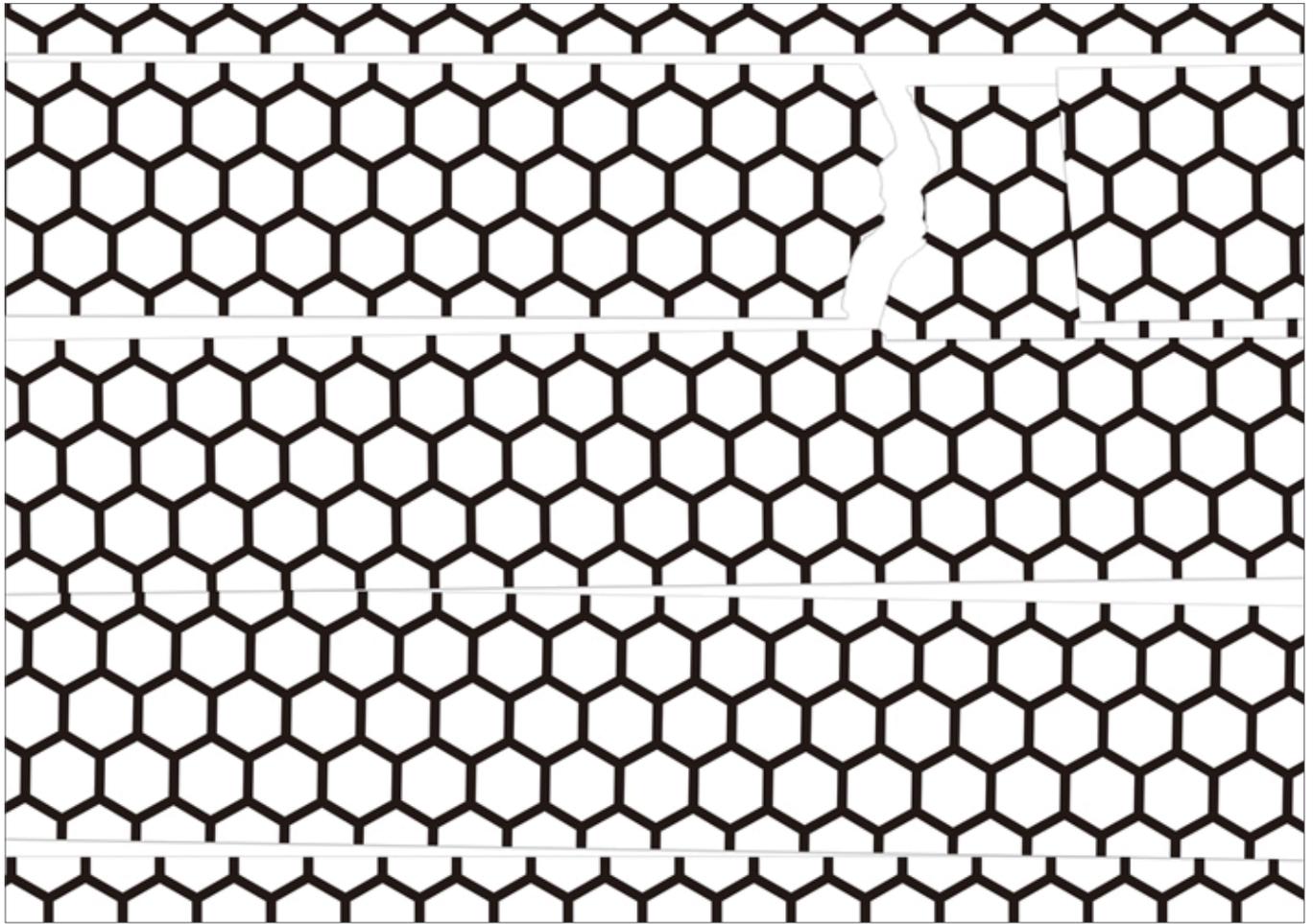
## TAIKI NAGAYAMA

長山大樹

【RIVALRY MAKE YOU TOP PLAYER.】

すべての事において、成長する為には才能や血統、運が必要な事ではなく競い合えるライバルがいる事である。良きライバルを持ち上を目指そう。

13



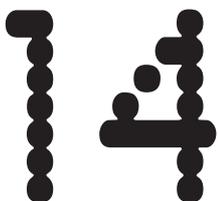
©naohito narita

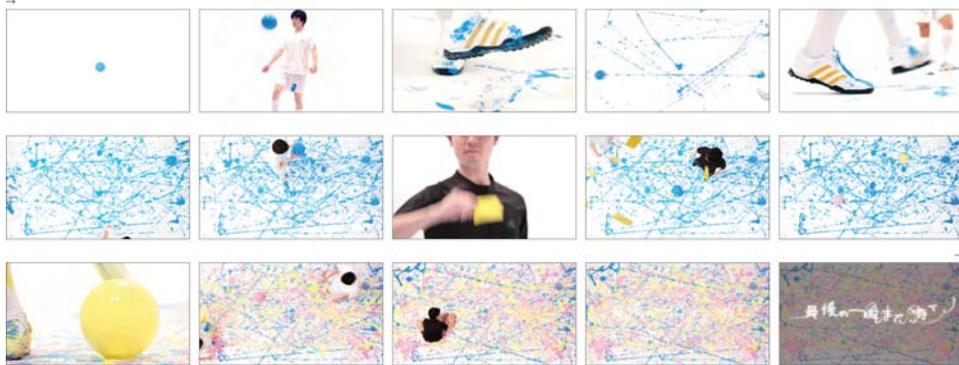
## NAOHITO NARITA

成田直人

### 【ゴールテープ】

そもそも。サッカーは、どこでもできるから、おもしろい。子供の頃はゴールがなくても、「フェンスのこの柱から、あそこの柱までがゴールな。」というふうに、見えないゴールを見つけてサッカーを楽しめた。大人になって、見えないゴールが見つけれなくなってしまっただけだ。このテープは、見えないゴールを、見える化するテープだ。これで、どこでもサッカーができる。と、いうより。今、この場で。(展覧会会場で)サッカーをしちゃえばいい。





©akari neko

## ACARI NECO

根子明里

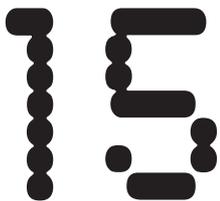
チームワークとセンスが、勝負を決める。サッカーもデザインも。

【チームワーク】各プロフェッショナルが集まって一人では不可能だった技が生まれる。

【ルール】脚しか使わないルールのなかで、素晴らしい脚技が生まれる。納期とメディアのルールのなかで、新しいアイデアを生み出す。そして、すべては、心の底から楽しむことから始まる

サッカーもデザインも、チームと制約と遊びが重要だと思う。

AD/D 根子明里 CW 安田健一 映像/Photo 市村智宏 編集/音 根子敬生 CAST 横田雄一郎 大越寛之 根子敬生 安田健一





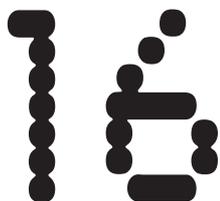
©akihiro hanakawa

## AKIHIRO HANAKAWA

花川明弘

### 【KICK KICK KICK OFF!!】

サッカーが世界中の人々をこんなに夢中にさせるのは、人間の本能に直感的に訴えるスポーツだからだと思います。例えば、胎児のキック行動もきつとその点に繋がっているのではと考え、人が近づくと人感知センサーが反応し、ポスター裏に仕込んだモーター装置が作動、妊婦のお腹がポコポコッと動いて、胎児がお腹の中でキックしているように見える直感的な仕掛けのあるポスターを作りました。



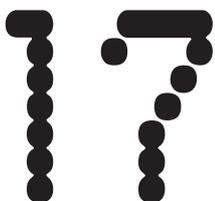


©kenji fujii

## KENJI FUJII

藤井賢二

2010年のワールドカップとは真逆に、1人ひとりの小さな世界にスポットを当ててみました。かつてサッカー少年だったある人物の心の中を覗き込むように、18の箱がストーリーで繋がっています。





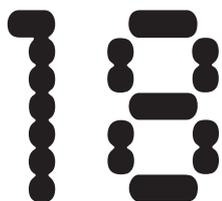
©takuya furuta

## TAKUYA FURUTA

古田琢也

【soccer is happy】

サッカーって理屈じゃなく楽しい。勝ち負けも大切かもしれませんがまずは純粋に楽しむ事、それが一番大切だと思います。子供の頃、心から楽しんだサッカーには夢と笑顔が沢山つまっていた。そんなサッカーの楽しさや空気感を、制作者の私自身が純粋に楽しんで感覚的にコラージュで表現しました。理屈や説明なんて必要ない!!一見目で単純に楽しそうと思わせたい!!一見目で単純にかっこいいと思わせたい!!そんな思いで制作しました。





©ryo hoda

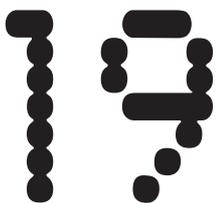
## RYO HODA

保田 亮

テーマである“サッカー”とその周辺のワンシーンを切り取り、真っ直ぐな人、頑張っている人、努力している人、でもちょっと弱気になる人などなど、今の状況をなんとかしようと、もがいている人を応援するメッセージを込めました。

つまらない悩みは、スポーツで汗を流せば意外と解決できるような気がします。

Enjoy playing more. もっと人生を楽しもう。



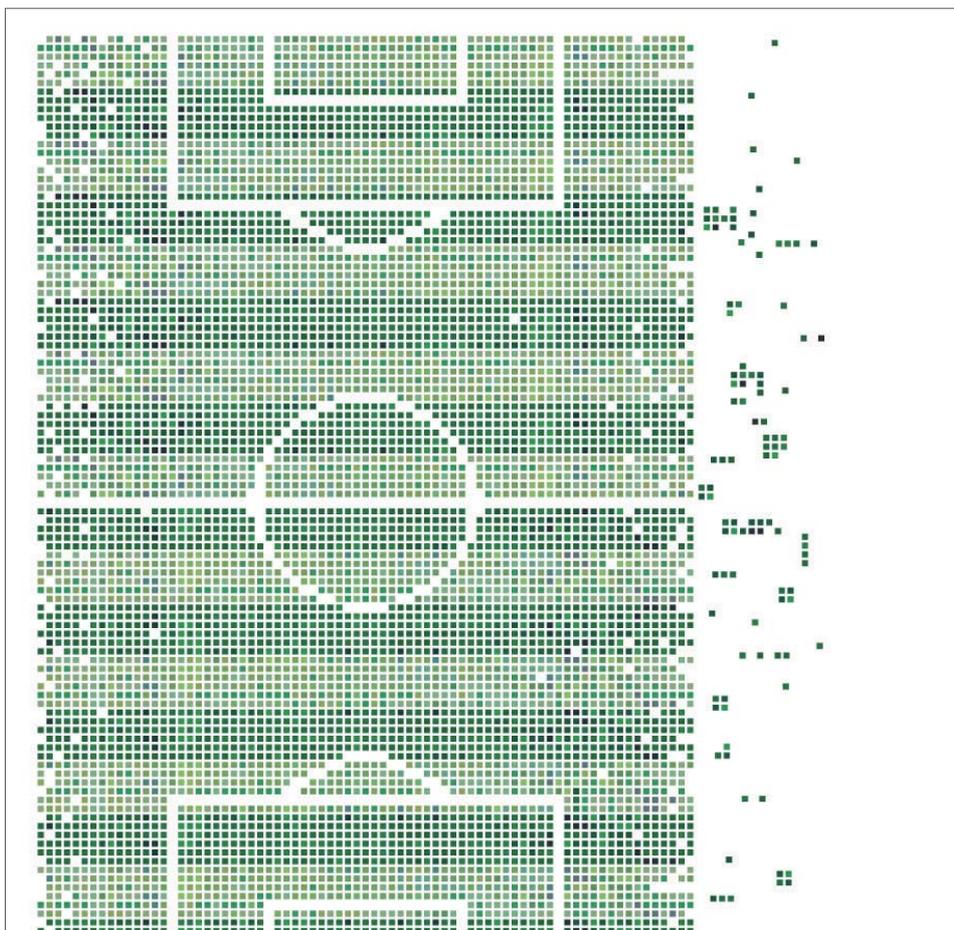


©yuma matsubayashi

YUMA MATSUBAYASHI

松林裕馬

29

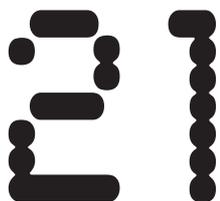


©chikara matsumoto

## CHIKARA MATSUMOTO

松本 力

みんなの手でサッカーフィールドを作ろう！  
私たちでも施行可能な校庭の芝生化の提案です。





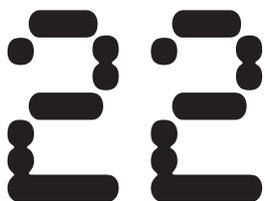
©yuka mimura

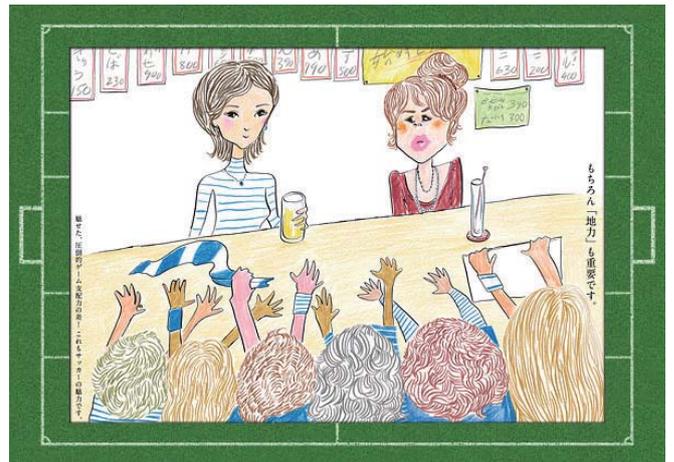
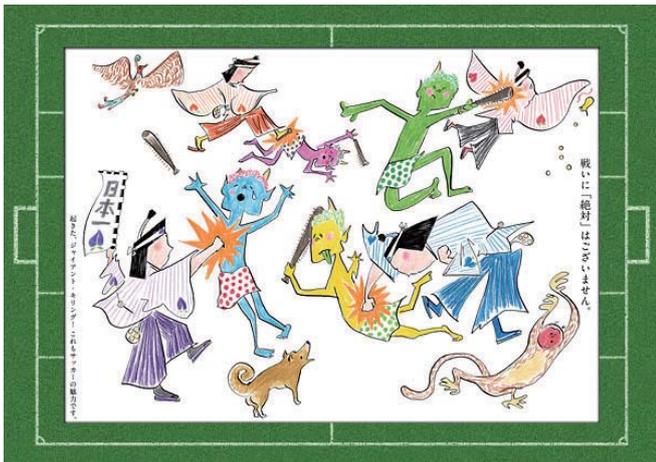
YUKA MIMURA

三村友香

【Finger Soccer】

ボール、グラウンド、筋肉痛。もっと気軽に楽しめる、たとえばこんなサッカーはどうでしょう。





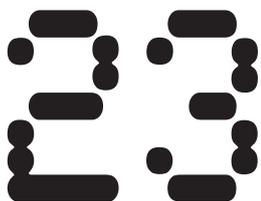
©yosuke mizukami/norie Ikegami

YOSUKE MIZUKAMI NORIE IKEGAMI

水上洋介

池上典衣

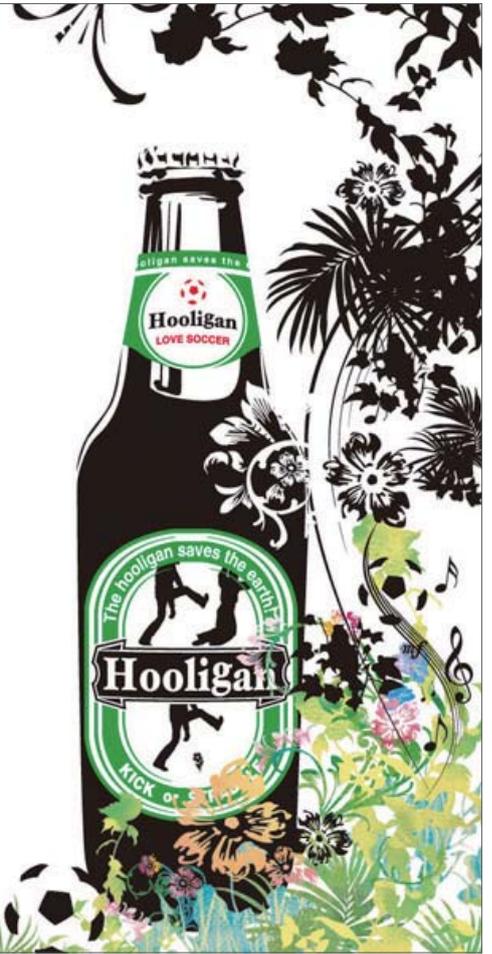
【これもサッカーの魅力です。】  
 サッカーのピッチ上ではこんな試合や大会も繰り広げられています。  
 特に一発勝負のカップ戦(トーナメント戦)ではジャイアント・キリング(「大物食い」「番狂わせ」)実力が格下のチームが格上の相手から勝利を挙げること)を期待したり、圧倒的な力の差に魅了されたりと楽しみ方も様々です。そんなサッカーという競技の魅力を知って、観戦したら一段と楽しいのでは。



# The Hooligan Saves the earth!?



あなたが変われば、きっと世界も変わるはず。

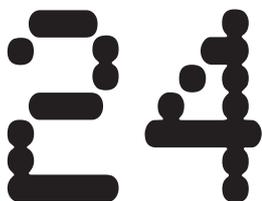


©chihiro morooka

## CHIHIRO MOROOKA

諸岡千緩

世界中に親しまれているスポーツ、サッカー。それにつきものな問題がフーリガンの存在。あのフーリガンのパワーは他に役立てられないのだろうか。もしかしたら世界を救う行動に変わるのではないだろうか。と、フーリガンにとって最も身近なビールのラベルと、遊べるカードゲームで表現してみました。このギスギスしがちな世の中で、フーリガンだけでなくみんながちょっとずつ変わらなければならないんじゃないかと思います。サッカーをきっかけに、世界はもっと居心地のいい場所になるはず！





Graphic designers create things toward one goal (purpose) by using every skill and strategy while communicating with various people, papers and inks, of which qualities are mutually varied well. Soccer players also aim for one goal by using every skill and strategy while communicating with teammates. The sense of graphic designers is precisely near to the state of playing soccer all the time.



©masakazu yamanokuchi

## MASAKAZU YAMANOKUCHI

山之口正和

選手が紙で私は監督。彼らと一緒に一つのメッセージを伝えることをゴールにしました。11枚それぞれ個性のある選手たち。彼らのカラーを見極めながら、作戦を練ることに。「大胆な文字で勝負を仕掛けようか?」「奇抜な配色で相手の気を引いてフェイントか。」なげなしの技術を駆使し、グラフィックデザインの王道「ポスター」でキックオフです。





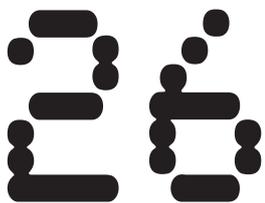
©shinmei yamamoto

## SHINMEI YAMAMOTO

山本伸明

With just one ball, everyone will gather round and a game will start.  
Such a situation is expressed by bees gathering round a beehive.

ボール1つあれば、みんなが集まりゲームが始まる。  
そんな様子を蜂の巣に集まってくるミツバチと巣で表現した。





最高に燃えた、あの時。

2010 JAPAN NATIONAL TEAM **REMIND.2002**

©naoya wada

## NAOYA WADA

和田直也

日本代表”というコトバと最も密接に結び付いているもの、それはサッカーではないかなと思う。2002年、日韓W杯。あの時ほど、日本列島がひとつになったような、日本人であることを体感した記憶は、他にはない。だけど。2010年の今、普段サッカーに興味がない人も熱狂し、一喜一憂したあの時のような興奮は、どこかへ行ってしまった…。日本代表よ。思い出させてくれ！またあの時みたいに熱狂させておくれよ！そんな思いを込めた日の丸です。



## LIST OF MEMBER

出展者



## YUKI ADACHI

安達 祐貴

1983年長野県生まれ。グラフィックデザイナー  
東京工芸大学デザイン学科卒業。同年、たき工房入社。  
現在、サウンド出向中。過去の受賞:TDC入選、タイポグラフィ年鑑入選、ポスタートリエンナーレトヤマ入選、  
NICOLE BMW DESIGN CAR ART CONTEST入賞等。



## YUKI MATSUDA

松田 勇希

1982年大阪生まれ。プロデューサー  
関西外国語大学卒業。同年、たき工房入社。  
現役草サッカー選手。どのポジションも出来ます

01



## AKIKO UCHIDA

内田 暁子

美術大学を卒業後、総合印刷会社の制作部に勤務。  
2008年4月より「心温まる」をコンセプトにフリーランスのグラフィックデザイナーとして活動開始。  
現在に至る。

02



## TOSHIKI OSADA

長田 敏希

1984年山梨生まれ アートディレクター  
広告会社(株)クレオ所属  
受賞歴:Graphic Design in JAPAN 2010 入選、eco japan cup 2009 審査員応援賞受賞、APAアワード  
2010、東京コンペ コスチューム部門・望月春江賞 入選 ★企画展実行委員 7G所属



## KENICHI YASUDA

安田 健一

コピーライター。  
サッカーの試合で最も興奮する“時間”と“視点”を抽出しました。新しい観戦エンタテインメントに、ぜひ。  
受賞歴:東京コピーライターズクラブ新人賞、TDC賞入選、日経エコプロダクツ審査員賞、ピンクリボンデザイン大  
賞、Heart Line Project コピー賞、JAGDA入選、APA入選 ★本企画展実行委員 7G所属

03



## REIKA KADOWAKI

門脇 麗佳

グラフィックデザイナー。  
短大卒業後、数年間OLとして勤務後、現在のデザイン事務所へ転職。  
“人を幸せにできる”アートディレクターを目指し邁進中です。

04



## HIROYUKI KITAMOTO

北本 浩之

(株)KOBi 在籍/グラフィックデザイナー  
1984年生まれ 大阪府出身。  
2007年 大阪芸術大学 デザイン学科 卒業。  
受賞歴:二科展 デザイン部イラスト部門 大賞、日本タイポグラフィ年鑑 入選

05



## DAISUKE SATOH

佐藤 大輔

日本大学理工学部数学科卒。  
コンピュータソフトウェア会社勤務後、退職。  
現在、フリーランスのグラフィックデザイナー。

06



## TAKEHIKO SHINOZAKI

篠崎岳彦

栃木県生まれ。  
大学卒業後デザイン事務所数社を経て、  
現在(株)スーパーマッチボックスで  
印刷物、Webサイト制作に携わっています。

07



## SHOGO SEKI

関 翔吾

1984年生まれ。06年、東京工芸大学デザイン学科卒業。同年、福島デザイン入社。JAGDA会員。  
受賞歴：広告電通賞 優秀賞、日刊工業新聞社賞、エコジャパンカップ 審査員賞、NYフェスティバルファイナリスト、ワ  
ルシャワ国際ポスタービエンナーレ入選、ADC・TDC・JAGDA入選、2010 JAGDA新人賞ノミネート  
★本企画展実行委員 7G所属

08



## RYOSUKE TAKANO

高野涼介

1978年 宮崎生まれ。  
国際基督教大学 教養学部理学科卒  
ARTS 10期卒。  
(株)STUDIOGET 所属 デザイナー

09



## MAKOTO TAKEUCHI

竹内 慎

1977年東京生まれ 多摩美術大学卒。  
受賞歴：日本工業新聞産業広告賞/金賞-優秀制作者賞、日経BP広告賞 東京TDC入選 等  
日本グラフィックデザイナー協会(JAGDA)会員  
★本企画展実行委員 7G所属

10



## KOHEI TAMAGAWA

玉川耕平

1983年 栃木県生まれ。  
東京工芸大学 芸術学部卒業後、株式会社 広美 入社。  
日本グラフィックデザイナー協会(JAGDA)会員  
★本企画展実行委員 7G所属

11



## YASUHIRO TANABE

田邊泰大

1979年生。  
広告制作会社で生かされています。

12



## TAIKI NAGAYAMA

長山大樹

日本グラフィックデザイナー協会(JAGDA)会員  
受賞歴：JAGDA ジェネラル部門入選、タイポグラフィ年鑑入選、など。

13



## NAOHITO NARITA

成田直人

1984年 神戸生まれ。  
デザイナー  
真っ直ぐに繋がるコミュニケーションを、  
素直に愚直にデザイン致します。

14



## ACARI NECO

根子明里

グラフィックデザイナー／アートディレクター  
静岡文化芸術大学卒業後 株式会社クレオ入社  
受賞歴：TDC賞入選ほか  
★本企画展実行委員 7G所属

15



## AKIHIRO HANAKAWA

花川明弘

1983年 千葉県生まれ。  
2006年 東京工芸大学卒業後、(株)東京アドデザイナーズに入社。  
受賞歴：読売広告大賞グランプリ  
<http://www.flower-river.com/>

16



## KENJI FUJII

藤井賢二

デザイン会社たき工房 kaza☆ana所属 1975年愛知県生まれ。アートディレクター／グラフィックデザイナー  
受賞歴：広告電通賞、日経広告賞、朝日広告賞、JAGDAポスター部門入選、TDC入選、など。  
日本グラフィックデザイナー協会 (JAGDA) 会員  
★本企画展実行委員 7G所属

17



## TAKUYA FURUTA

古田琢也

1987年鳥取県産まれ。  
専門学校卒業とともに東京へ。  
現在広告制作プロダクション勤務。

18



## RYO HODA

保田 亮

1974年大阪生まれ。アートディレクター／グラフィックデザイナー  
数社の広告制作プロダクションを経て、2010年3月TOY PLOT(トイプロット)として活動開始。  
クリエイティブは、生き方そのものだなあと、最近ますます感じます。  
日本グラフィックデザイナー協会 (JAGDA) 会員

19



## YUMA MATSUBAYASHI

松林裕馬

1978年生まれ グラフィックデザイナー  
広告制作プロダクション勤務。  
受賞歴：「FUKUDAポスター大賞」グランプリ

20



## CHIKARA MATSUMOTO

松本 力

北海道東海大学芸術工学部デザイン学科卒業。  
印刷会社、SP制作会社、広告制作プロダクションを経て  
2008年6月独立。現在、インコグラフィカ代表。

21



## YUKA MIMURA

三村友香

1986年生まれ。  
東海大学芸術工学部くらしデザイン学科修了。  
現在は、株式会社クレオにデザイナーとして在籍しています。  
私が物作りにおいて大切にしているキーワードは、「幸せ感」です。

22



## YOSUKE MIZUKAMI

1976年札幌生まれ。  
プリンティングディレクター/レタッチャー  
「顧客満足」を多角的に捉えるため、  
現在、中小企業診断士を目指して勉強中です。



## NORIE IKEGAMI

池上典衣  
1983年兵庫県生まれ。絵描き。  
最近はおの腕と河童に興味があります。登場するすべてのものが、生きているような、動き出しそうな絵を描きたい  
いつも思っています。主な受賞歴:2007年度 ザ・チョイス年度賞 大賞、第8回ピンポイント絵本コンペ最優秀賞  
<http://noriekegami.com/>

23



## CHIHIRO MOROOKA

諸岡千緩  
1984年横浜生まれ東京育ち。  
2006年武蔵野美術大学 卒業。  
現在は広告代理店にてデザイナーやらアートディレクターやら。

24



## MASAKAZU YAMANOKUCHI

山之口正和  
1978年大阪生まれ。  
現在、株式会社ティ・デイ・エスでグラフィックデザイナーとして勤務。  
日本グラフィックデザイナー協会(JAGDA)会員。

25



## SHINMEI YAMAMOTO

山本伸明  
1977年生まれ 東京造形大学卒。  
(株)グレイワールドワイド(GREYgroup G2tokyo)にてアートディレクターとして所属。

26



## NAOYA WADA

和田直也  
1980年 東京都生まれ/グラフィックデザイナー  
デザイン事務所、広告代理店にて制作に携わる。  
永遠のシラフ。

27



## MAKOTO IWAI

岩井 信  
1976年大阪生まれ。印刷会社、デザイン事務所、広告制作プロダクションを経て、2008年、tolast design(トラストデザイン)として活動開始。  
「Heart Line Project 2004」最優秀賞、新風舎出版賞奨励賞等 日本グラフィックデザイナー協会(JAGDA)会員  
★本企画展実行委員 7G所属

00



## CHIAKI SAKASHITA

坂下智亜紀  
1974年大阪生まれ。  
[QR\_sukui(真木準と27人のアートディレクター出展作品)]NHKデジスタ、ベストセレクション授与。  
フリープロデューサー兼、映像ディレクター兼、CGデザイナー兼、大学講師。  
★本企画展実行委員 7G所属

00

## 4TH YOUNG ART DIRECTORS EXHIBITION [DESIGN × SOCCER]

2010年5月1日[土]-5月5日[水]

“d-labo”特設会場 東京ミッドタウン・ミッドタウンタワー7階

企画運営:7G 協力:d-labo

# 7G

展示会実行部メンバー

岩井信／長田敏希／坂下千亜紀／関翔吾／竹内慎／玉川耕平／水上洋介／根子明里／藤井賢二／安田健一

公式サイト:<http://www.seven-g.jp/>

E-mail:[group7arts@yahoo.co.jp](mailto:group7arts@yahoo.co.jp)

公式Ustream:<http://www.ustream.tv/channel/7g-channel>

本書に掲載されているグラフィック、写真、文章の著作権は、7Gもしくは各制作者に属するものです。  
無断で本書の全体または一部の複写・複製・転用を禁じます。

©2010 7G